

第 9 課 話法の助動詞

1 話法の助動詞とは

話法の助動詞は動詞を補助し、動詞の意味に「可能」、「義務」、「意志」などの意味をもたせるほかに、話し手の主観的なニュアンスをそえるものです。

2 話法の助動詞は枠構造

話法の助動詞が使われる文では動詞は**不定形**となって、**文末**へおかれます。

Kannst du nach der Uni zu mir **kommen**? (大学が終わった後、私のところへ来てくれる)

平叙文の場合、助動詞は2番目の位置におかれ、文末におかれた不定形と枠を作るようにして他の文成分を挟みます。

これは枠構造とよばれるもので、助動詞の入った文は枠構造を作ります。

	助動詞		動詞
Das Kind	kann	schon	lesen
Morgen	muss	ich nach Berlin	fahren
Hier	darf	man nicht	rauchen

どうしてこのようなことが起こるのでしょうか？

不定詞句から考えると分かりやすくなります。

不定詞句の語順は日本語と同じで、不定詞句が最後に来ます。

sehr gut Klavier spielen können (とても上手にピアノがひける)

これが文になると、主語が入り、話法の助動詞は人称変化し、**定動詞の位置**である2番目の位置におかれ、不定詞は「結果的に」文末に残るわけです。

Meine Freundin kann sehr gut Klavier spielen. (僕のガールフレンドはとても上手にピアノをひくことができる)

3 助動詞の用法

a) dürfen

	ich	du	er	wir	ihr	sie
dürfen	darf	darfst	darf	dürfen	dürft	dürfen

許可「.....してもよい」：Darf ich Sie etwas fragen? (あなたに質問してもいいですか)

(否定のことばとともに) 禁止「.....してはいけない」：

In der Bibliothek **darf** man **nicht** laut sprechen. (図書館で大きな声で話してはいけない)

b) können

	ich	du	er	wir	ihr	sie
können	kann	kannst	kann	können	könnt	können

可能・能力「.....できる」：

Er **kann** gut kochen. (彼は上手に料理することができる)

許可「.....してもいい」：

Kann ich jetzt gehen? (もう行ってもいい?)

可能性・推量「.....かもしれない」：Kann das denn wahr sein? (それは本当かしら)

c) müssen

	ich	du	er	wir	ihr	sie
müssen	musst	musst	musst	müssen	müsst	müssen

必要・必然・義務「.....しなければならない」：

Du **musst** sofort zu Hause anrufen. (君はすぐに家に電話しなければならない)

論理的必然「.....にちがいない」：

Die Kinder **müssen** müde sein. (子供たちは疲れているにちがいない)

(否定語とともに)「~する必要はない」：Das **musst** du **nicht** machen. (それはしなくてもいいよ)

d) mögen

	ich	du	er	wir	ihr	sie
mögen	mag	magst	mag	mögen	mögt	mögen

好み「.....が好きだ」(この場合は不定形をとみなわず、動詞として使われます)：

Katzen **mag** ich **nicht**. (猫はきらいだ)

推量「.....だろう」：

Unser Lehrer **mag** etwa 50 Jahre alt sein. (ぼくらの先生はおよそ50歳くらいだ
ろう)

e) möchte

	ich	du	er	wir	ihr	sie
möchte	möchte	möchtest	möchte	möchten	möchtet	möchten

「mögen」の 接続法 式である 「**möchte**」 も「.....したい」という<現在の願望>を表す意味で使われます。

wollen よりも控えめな言い方です。

Ich **möchte** Kaffee trinken. (珈琲を飲みたい)

Ich **möchte** ein Bier. (ビールを一杯ください)

「möchte」は他動詞としても使われます

f) sollen

	ich	du	er	wir	ihr	sie
sollen	soll	sollst	soll	sollen	sollt	sollen

主語以外のものの意思・要求を表す「.....しろといわれている、.....しなければなら
ない」:

Ich **soll** Arzt werden. (医者になれといわれている)

Du sollst um sechs kommen. (君には6時に来てもらいたい)

相手の意向を聞く「.....しましょうか」: **Soll** ich dir helfen? (お手伝いをしま
しょうか)

噂「.....だそうだ」: Er **soll** reich sein. (彼は裕福だそうだ)

g) wollen

	ich	du	er	wir	ihr	sie
wollen	will	willst	will	wollen	wollt	wollen

主語の意思「.....するつもりだ、.....したい」: Mein Sohn **will** Physik studieren.
(息子は物理学を専攻したいと思っている)

(複数1人称で)「.....しよう」: **Wollen** wir langsam gehen! (そろそろ出かけよ
う!)

主張「.....と**言い張る**」 : Jochen **will** ein Weinkenner sein. (ヨッヘンはワイン通と称している)

(始まりそうな気配 ; 兆し) 「.....し**そうだ**」 : Es **will** regnen. 「雨がふり**そうだ**」